

大阪医科薬科大学病院 周産期センター

※ 令和3年4月1日、大阪医科大学は大阪薬科大学と統合し、大阪医科薬科大学に改称致しました

当院周産期センターは、1981年に大阪医科大学附属病院 周産期センターとして開設し、以来40年余の歴史を重ねて参りました。2007年より地域周産期母子医療センターに認定され、大阪府下のNMCS(新生児診療相互援助システム)参加施設の一翼を担っております。また、当院は、OGCS(大阪府産婦人科診療相互援助システム)の基幹病院でもあります。地域の産婦人科クリニックや病院から、早産の赤ちゃんを産んでしまうかもしれない(切迫早産)お母さんや、おなかの中にいる赤ちゃんに異常が見つかったお母さんなどの紹介や、救急車による「母体搬送」も積極的に受け入れています。

また、地域の産婦人科クリニックとも連携し、クリニックで出生した赤ちゃんの健診や、ときに、出生した後に病気を発症した赤ちゃんを自院救急車で迎えに行く「新生児搬送」も行っています。

2006年から小児心臓血管外科、2015年から小児外科の各専門医による診療を行って参りましたが、2021年度からは、新たに小児脳神経外科専門の医師も加わり、心臓外科、一般消化器外科、脳神経外科という主だった外科領域全てに小児専門の医師が在籍することとなりました。早産のみでなく、各種外科疾患にも対応可能となっております。



※ 現在、当院は新病院建替中で、周産期センター(NICU/ GCU)も令和7年度より新棟に移転する予定です。

大阪医科薬科大学病院 周産期センター・新生児科

〒569-8686 高槻市大学町 2-7

大学代表 Tel: 072-683-1221(内線 2567), Fax: 072-684-6554

Homepage :<https://hospital.ompu.ac.jp/nicu/html/section02.html>